

インストール処理が途中でエラーになった場合について

1. インターネット接続がされていない

電子請求受付システム 統合インストーラの処理において、以下のメッセージが表示された場合、インターネット接続がされていない可能性があります。



電子請求受付システム 統合インストーラでは一部のソフトウェアをインターネットから取得しインストールを行うため、インターネット接続が必要となります。

インターネットへの接続確認後、電子請求受付システム 統合インストーラを実行してください。

2. ウィルス対策ソフトの機能により処理が中断されている

2-1 ご使用のウィルス対策ソフトがウィルスバスターの以下のエディションである場合

ウィルスバスター コーポレートエディション
ウィルスバスター ビジネスセキュリティ (Trend Micro ビジネスセキュリティ)

ウィルスバスターの設定画面より、[挙動監視]機能の設定状態を確認してください。

[挙動監視]機能が有効にされていた場合は、一時的に無効に変更してください。

設定の変更後、電子請求受付システム 統合インストーラを実行してください。

インストールの完了後、[挙動監視]機能を有効にしてください。

2-2 ウィルスバスター以外のウィルス対策ソフトを使用している場合

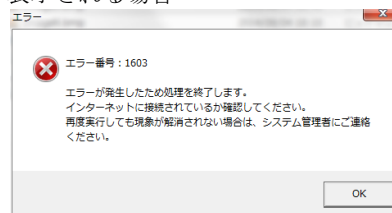
「コンピュータを監視し、不正な変更が行われないよう保護する」等の機能が存在する場合、該当機能を一時的に無効に変更してください。

設定の変更後、電子請求受付システム 統合インストーラを実行してください。

インストールの完了後、該当機能を有効にしてください。

2-3 2-1,2-2 の対策を行ってもインストーラの処理が中断される場合、

または以下のメッセージが表示される場合



以下のいずれかの対策を実施してください。

対策 1

ウィルス対策ソフトを一時的に無効化してください。

設定の変更後、電子請求受付システム 統合インストーラを実行してください。

インストールの完了後、ウィルス対策ソフトを有効にしてください。

対策 2

対策 1 を実施できない場合、電子請求受付システム 統合インストーラによってインストールするソフトウェアの一部をインターネットより取得してください。

【プログラムと機能】画面等より、該当のソフトウェアがインストールされているか確認し、必要なソフトウェアのインストールを行ってください。

個別にインストールを行った後、電子請求受付システム 統合インストーラを実行してください。

個別にインストールを行うソフトウェアについて

①	【対象ソフトウェア】	左記(1) (Microsoft Visual C++ 2015-2022 Redistributable(x86)) がインストールされていない場合には、左記の【取得 URL(1)】よりインストーラを取得し、インストールを行ってください。 【Microsoft Visual C++ 2015-2022 Redistributable(x86)の確認方法】 下図を参考に、【プログラムと機能】画面にて一覧に表示されているか確認してください。
	(1) Microsoft Visual C++ 2015-2022 Redistributable(x86) 【取得 URL(1)】 https://aka.ms/vs/17/release/vc_redist.x86.exe	
②	【対象ソフトウェア】	左記(2) (Microsoft Edge WebView2 Runtime) がインストールされていない場合には、左記の【取得 URL(2)】よりインストーラを取得し、インストールを行ってください。 【Microsoft Edge WebView2 Runtime の確認方法】 下図を参考に、【プログラムと機能】画面にて一覧に表示されているか確認してください。
	(2) Microsoft Edge WebView2 Runtime 【取得 URL(2)】 https://go.microsoft.com/fwlink/p/?LinkId=2124703	

【プログラムと機能】画面 ※下図は Windows 10 の画面です。

